

# 寺報

龍正寺

日なた 125号

おかげ  
さま  
日延



<平成30年10月>

宝龍会  
護持会

# 秋季彼岸中日法要会を開催しました



法要終了後のお茶会の席で、初めて参加された方から「昔はよくこうやって大勢で食事をした。懐かしい。」と言う声が聞かれました。龍正寺では普段の参詣から大祭のお参りまでどなたでも気軽に参加していただけます。『日本で一番小さいけれど、日本で一番あたたかいお寺』龍正寺への参拝をお待ちしています。



## 任職一言 (おかげさま)

宗祖日蓮大聖人第1737遠忌、お会式会迎える月になり宗門各寺院・教会、結社で法要が営なわれます。当山では10月7日第1日曜日に午前10時より読誦会、午後1時より報恩お会式会法要を営なみ、宗祖日蓮大聖人に檀信徒と共に報恩の法樂御回向を申し上げます。

私事ですが日蓮宗新聞を読み返えしていきすとある某の都教師会長上人の言葉があります、目に留った事はおかげさまで生かされると書かれておられ、今日このごろおかげさまと言われる事が少なくなったように思います、私自身も言葉にしていない様に思っています。

5年前に自動ブレーキが作動する車に乗り換えました、年を取ると安全な車が良いと思ひまして、先日四角で正面衝突事故を起こす所でしたが、自動ブレーキが作動して、事故を起こさずに済みありがたく思っております、新聞の中からおかげ

げさまび生かされるを見た時、あらためて、仏僧三原、諸天善神様のおかげさま、自動ブレーキの車に感謝の念がこみあげてきました。

毎日、運転する事に慣れてしまい、自分の運転に過信していると、事故を起すこととなると思います。

運転される方々 安全運転に心がけて下さい。  
お題目を唱えられる「おかげさま」は私たちの心が安穩になり、怒り心を変えて行く事も出来ると思います。

合掌

# 「煩惱即菩提」

二七 months 前の事なのだけれども...

佐口上人との対話の中で、私の悩みを聞いて下さる  
最中に「問題は起るのは幸せである」と説かれた...。  
私などは小者であるが故に「どうして幸せなのか？」と  
心中で思っていた。

苦悩や諸々の問題は無いに越した事は無いと思  
っていた...

私自身、振り返ってみると...

会社を興し18年間、金銭の工面で悩み、従業員の内  
務で悩み、顧客様で悩み、眠れぬ日々が多かった。  
それ14年前に再婚した妻との間に3人の養子を迎え、  
慣れない子育てに悩み、夢中で駆け抜けたおかげ  
10数年であつた気がする。

その度に様々な苦悩や涙があつたのだけれども...

果して自分自身の身に付く様に苦難を越えて来たのかと  
思うと疑念を抱いてしまう...

その時々をクリアして来ただけにも思えてしまう。

ただひとつ言える事は、普通の人とは違った人生であつたと  
思うけれど... 特に30才~50才までの期間は苦しい事が  
多く... その事から人として少い成長をきたしたのではないか。

今頃になって佐口氏の言ふべき言葉が理解できる  
おりになりませぬ。

日蓮聖人の書物の中に「煩惱即菩提」という言葉  
を見つけました... これは 煩惱(迷いや小悩み)は(悟)に  
なるという意味でした。

その言葉と佐口氏の言葉が合点重なる、私に大切  
な事気付かせて頂きました。

どう思ふと... 私の人生は、幸せなのだと思ひました。

今春に佐口氏様にも大変な力を借していただき、  
私の故郷の父母のお墓を新設し、墓開きの儀を  
執り行なわれました。それと同時に私の家系と縁が  
あった家系の墓地を供養させ、墓開きの儀を  
させて頂きました。

このおかげで仏事は軽やかたたくても中々出来ません。

これも私がこの家系に産まれて来たからこそこの体験だと  
思ふおりになりませぬ。

しかしその小悩みや迷いの最中にはこれが悟りや気付きに  
なるべく事が解らず、只々眠れぬ夜を過ごして行きました。  
お大事に精進をしてみよおと改め思ひます。

昨年までの私より、この気持ち、この風しには思ふ存じなく、  
これだけでも私自身がこの一年で仏縁に触れさせて  
頂き、仏縁を頂けたから故だと信じています。

そこから... 先週にこんな不思議な夢を見ました...  
そこは.. 広い野原に 大きな大きな木があって  
深い藪の人達が長蛇の列を並んでいました。  
何故か私も後尾に並んでいて...  
段々と前に進むと... 大きな木の下に杖を持った白髪の  
老人が座っていました..

私の番になると. その老人が手招きをして私に向って  
「君は来世に イガラツ (そう聞きました) という家に  
産んで. 父親の仕事でアメリカに行くであろう...」  
と言われ. その夢は終わりました..

実はアメリカは私が 20代の頃に思っていた夢でした。  
仕事も何もかも捨ててでも アメリカに行きたいと強く思っ  
ていました。結局はその原因でこの愛知県に来る  
きっかけになったのですが...  
その若い頃の願望を夢の中の老人は見抜いていたのか?  
来世の話として私に伝えてくれました。

人は沢山の色々な経験をする為に産まれて来るおりに思えます。  
その迷いや悩みがあるからこそ. それを解決する為に  
精進して気付きに変わって行くという事を学べる事が  
出来ました。

この事ひとつにしても仏様が私を導いて下さったおりに  
思えます。感謝しかありません。

## ※ 前へ進むチャンスを見つけよう ※

今年は酷暑、地震、台風と自然災害での災難、数しぬすの年ですぬ。

我が家も家庭内に次々へと起こるアクシデントに振り回されました。その多くの出来事に、不安、あせり、怒り等で心が乱れて感情のコントロールが出来ませんでした。そして寒暖の差による体調不良もあり…心身ともに疲れてしまいました。

しかし、ある事でふっ〜と心が前向きになりました。

それは「法華経のお教え」です。今年は自分自身を向上させたいとの思いがあり、法華経を心で学びたいと努めていました。

いつか何かを気づく事が出来るのでは…。以前であれば、そのような考えも思いつかず、自分にとって不都合な出来事には、感情のままに怒りや愚知を吐いていました。

しかし、「愚<sup>ぐ</sup>知<sup>ち</sup>」とは言ってもかいたのない事を言て嘆く事と事典にありました。「愚」はおろか「痴」は「癡」やまいたれに「知<sup>ち</sup>」と書きま<sup>す</sup>。では、そのようなやまいに冒されたい様に、自分自身を改めていこうと思いました。

そして、今は何か予期しない出来事、それが決して現状、良くない事でも、



冷静に出来事を受け止めて、原因の探求、それはどのように対応すればいいかを考える事が少しずつできるようになりました。すると、不思議と前を向いているのでネガティブな言葉はなくなりました。

※ どのような時も怒りの感情に振り回されない。

※ 日々報恩感謝の喜びをもつ。

※ 辛い、苦しい事を受け止めずに、俸世の為に乗り越える力を与えて頂けたと喜びとを感じる。

そして、「前へ進むチャンスを見つけよう。」と思うようになりました。

それを強く感じ出したのは...

今年3月に交通事故(接触)を起しました。なかなか解決せず長引きました。ある時、自分が原因なのだから、この与えられた試練は何の為なのか考えようと思いました。

毎日寺院でお参りをしていると、人身事故でなくて良かった。相手の方がケガをしてなくて良かった。いつも過信運転していた事に気がつく事が出来た。もっと安全を確かめよう。そして相手の方に心から懺悔しました。前を向いて、この心苦しさを受け止めて乗り越えよう。

するとある朝勤参りの時、御住職より、「七面山の大祭後、彼岸が明けたと、解決すると思うよ。」と言われました。

本当に 28日 いのりの日に「円満解決出来ました。」と保険会社より連絡がありました。

これは、大難が小難で済ませて頂けた、大きき学びでした。

決して、この事を忘れる事なく、交通安全を守り、日々、俸せに暮せるように精進したいと思います。

10月は「御会式会」 龍正寺 10/17 法要

龍正寺では檀信徒の皆さんと手作りの御万燈を毎年奉納しています。

宗祖日蓮大聖人の御手から五色の「結縁の網」が繋がっています。

「結縁の網」に触れ、日蓮大聖人の結縁を願いませんか。

(龍正寺では 10/31 まで 結縁の網に触れる事が出来ます。)

日々、喜びに満ち溢れた人生にしましょう。

# < 10月の行事内容 >

10月7日(日)	10:00~	読誦会
	13:00~	宗祖日蓮大聖人 報恩御会式会 佐渡法難会
10月18日(木)	10:00~	

# < 住職の予定 >

10月26日(金) 京都勉強会

# < 10月の予定 >

9月末~10月5日(金) 各々の時間で"清掃.準備"

10月6日(土) 10:00~ 飾り付け

10月7日(日) 法要後 片付け.準備

10月11日(木) 各々の時間で"清掃.準備"

↓  
17日(水) ↓